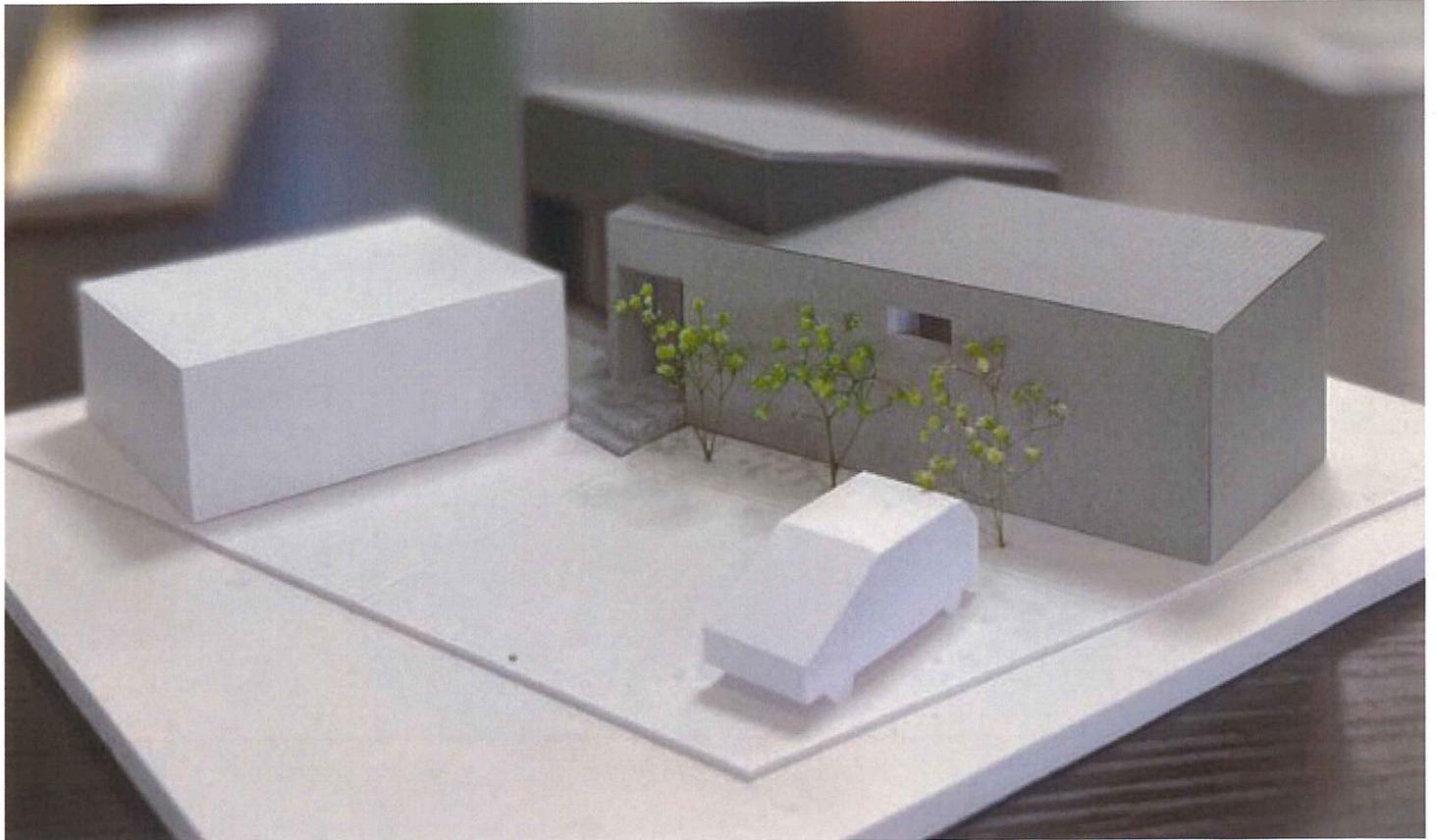


R PREMIUM SERIES

ARCHITECT : NISHII YOUSUKE

THE DIFFERENCE IN HOUSES IS
THE DIFFERENCE IN CREFTMEN



「間がある家」

「言葉で伝えないとわからない」という喧嘩した時などによく聞く言葉ですが、
いつの間にか人は「声」で感情を伝えることが苦手になりました。

LINEで繋がっている人はいるけど、
気持ちを伝えられると思える人、寄り添っている人はとても少なく
ひりついた気持ちのように暮らしています。

一緒にゲームをしたり、趣味を楽しんだりし、
楽しいことを分かち合いつつ、何か気になった事があった時にはお互いに相談できる、声を掛けあえる
そんな絶妙な空気感が流れる「間取り」ができました。

ひとつ屋根の下に居ながらも
お互いの姿がチラッと見えたり、見えなかったりと
人間に必要な「間」がこの家の暮らしでは行在します。

アールプラスハウス津



健康重視の「風のない光冷暖システム」、冬の陽だまり、夏の木陰のような空間で暮らすことができます。



全館空調システムは自然環境の温度変化と同じ「輻射・放射」の原理を応用。風も音も無く、四季を通じて常に快適な室内温度を保つことで、いつも極上の心地よさを感じられます。

光冷暖を利用した「F-CON」を導入

アレルギーを持つ方は年々増加傾向にありますが、いかにきれいな空気を吸うか、に注目が集まっています。エアコンからの埃やカビ、風によりダニ等が室内に舞い、何らかのアレルギー症状を起こしてしまう、そんな子どもたちの将来を守るためにも、優れた製品かと思えます。さらに人は人生の3分の1を睡眠に費やし、体を回復させます。このF-CONは空調の送風・音・臭い・乾燥等に悩まされることがない、上質な睡眠を提供してくれます。私たちは、豊かな人生を送るために、健康を考えた冷暖房「F-CON」をお勧めしていきたいと思えます。異次元の住み心地を生み出すこのシステムですが、本物の高気密高断熱住宅でないと効果は半減します。アール津の家を建てるならばぜひ導入したいシステムですね

アール プレミアムシリーズ

Debut



弊社の住宅標準仕様は、今考えられる最高級の住宅ということで

- ・kitchenhouse オートクチュール
- ・アクリル人造大理石バス
- ・TOTOネオレストLS
- ・オーク無垢床材
- ・エッグウォールライトクロス
- ・APW330サッシ
- ・屋根裏アイシネン断熱材
- ・高气密(C値0.2未満)／高断熱

上記を売り物としてきましたが、大手量販メーカー並みの価格を基準とした場合さらに上のシリーズが必要かと考え、付け加えたのが

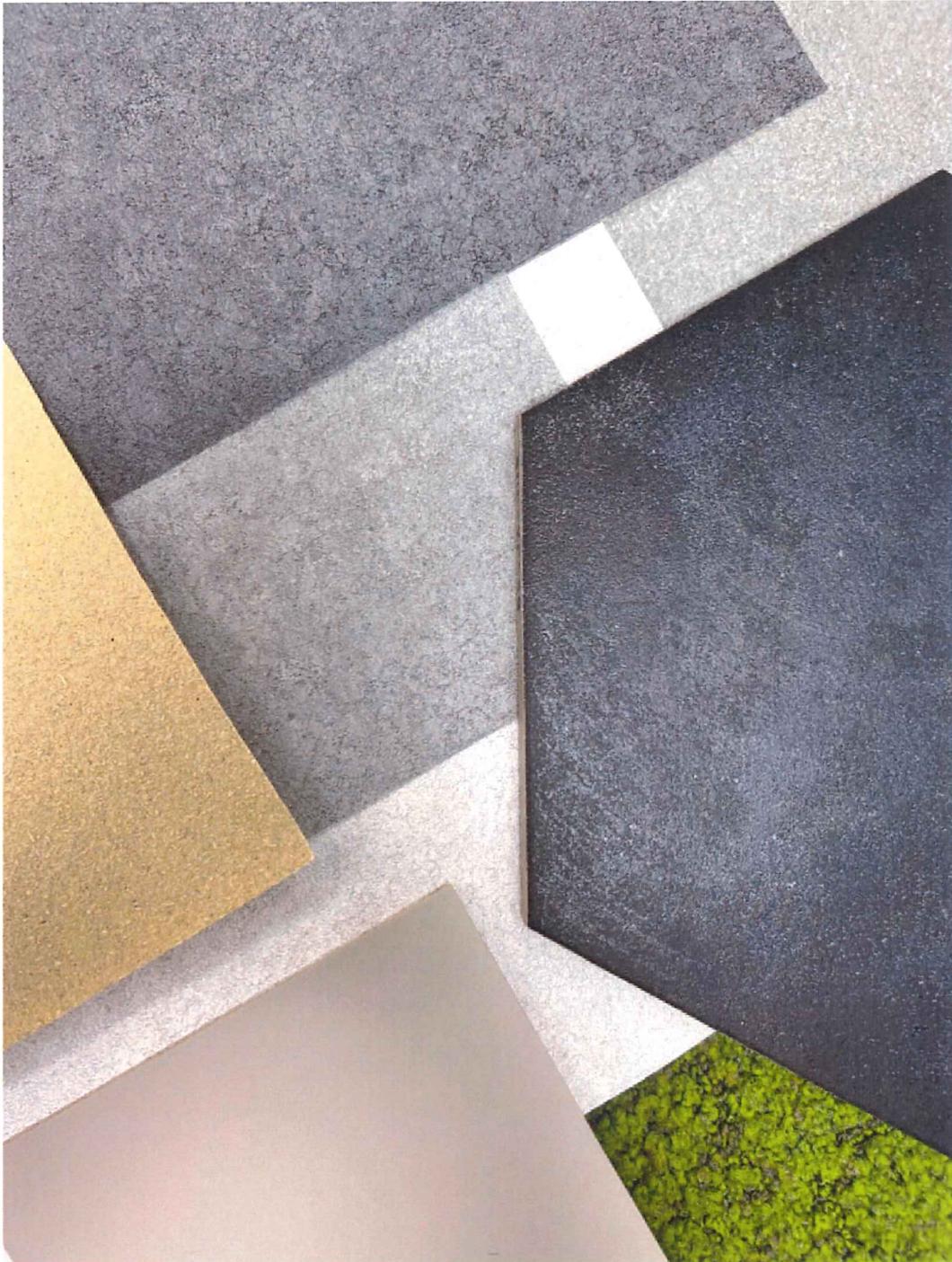
- ・F-CON
- ・太陽光発電+蓄電池
- ・ホーローbath

この3点を標準に追加装備したシリーズを「R premium」と名付けました。

R premium

1.

Combination



仕様打合せでは、どのようなテイストの家に仕上げていくのが焦点となります。この家ではカッコ良さにこだわらず、このようなクロス、建具でまとめあげました。注目は、右下のまるで苔のようなタイルカーペットです。苔と言えば、君が代に「苔のむすまで～」と歌われ、日本人の心ともいえるものです。苔の花言葉は「母性愛」。動物やら植物やらの垣根を超えた、生物としての本能に訴えかける母性的な魅力を孕んでいるのです。日本の美意識のひとつである「わびさび」。侘び寂びとは時の流れを感じる「間」です。長い歳月をかけて繁茂し成長していく苔ですが、それはもはや可視化された時の結晶。どこかしら悠久の時が感じられ、歴史感や重み、そしてかわいさや移ろう歳月の儚さを覚えるのです。

そう、この家のネーミングは「間がある家」

2. Bath-room

お風呂大好きな施主様は、1.25坪の広いお風呂に鋳物ホーロー浴槽とベンチ付ワイド浴槽をチョイス。水は少し多く必要ですが、お風呂好きにはたまらないリラックスタイムを送れることでしょう。



3.

Hand
Wash



4.

Neorest
"LS"
TOTO

コロナと共存する世の中になり、この手洗い場の位置が代を物語っています。トイレ内の手洗いは、奥行きが狭いものが多くしっかりと手を洗えるよう、トイレのすぐそばに設置しました

トイレは弊社標準のTOTO製ネオレストLS。トイレひとつ取っても、使いやすい間取り配置と落ち着く空間。それぞれのテーマをもって、全体のバランスを整えた計画は見る人が見れば違いがわかるかと思えます。

R premium

5.

kitchenhouse haute couture



キッチンはもちろん、アール津標準キッチンである「kitchenhouse haute couture」全国でこのキッチンハウスを一番沢山販売している弊社ならではのお得な設備のひとつです。今回のキッチンは人気のⅡ型と呼ばれるもの。調理スペースが広く、換気扇が壁側に行き目立たなくなるのが人気の理由でしょう。ただし、やはりどんなものでも利点、欠点があります。「濡れた物を後ろに運ぶ時に水が垂れる」「広いスペースが必要」「身体の向きを替える動作が多くなる」など。住宅設備を選ぶ際は、どんな商品もそうですが、ご自身が欠点を補って余る利点があると感じるのであれば採用すべきでしょう。ついつい利点にばかり目がいきつてしまい、選択を誤ることは多いと思います。数値で表れるものであれば、そこで比較をすれば間違いはありませんが、そうでないものは判断が難しいと思います。実はとんでもないほどメーカーにより差がありますよ。

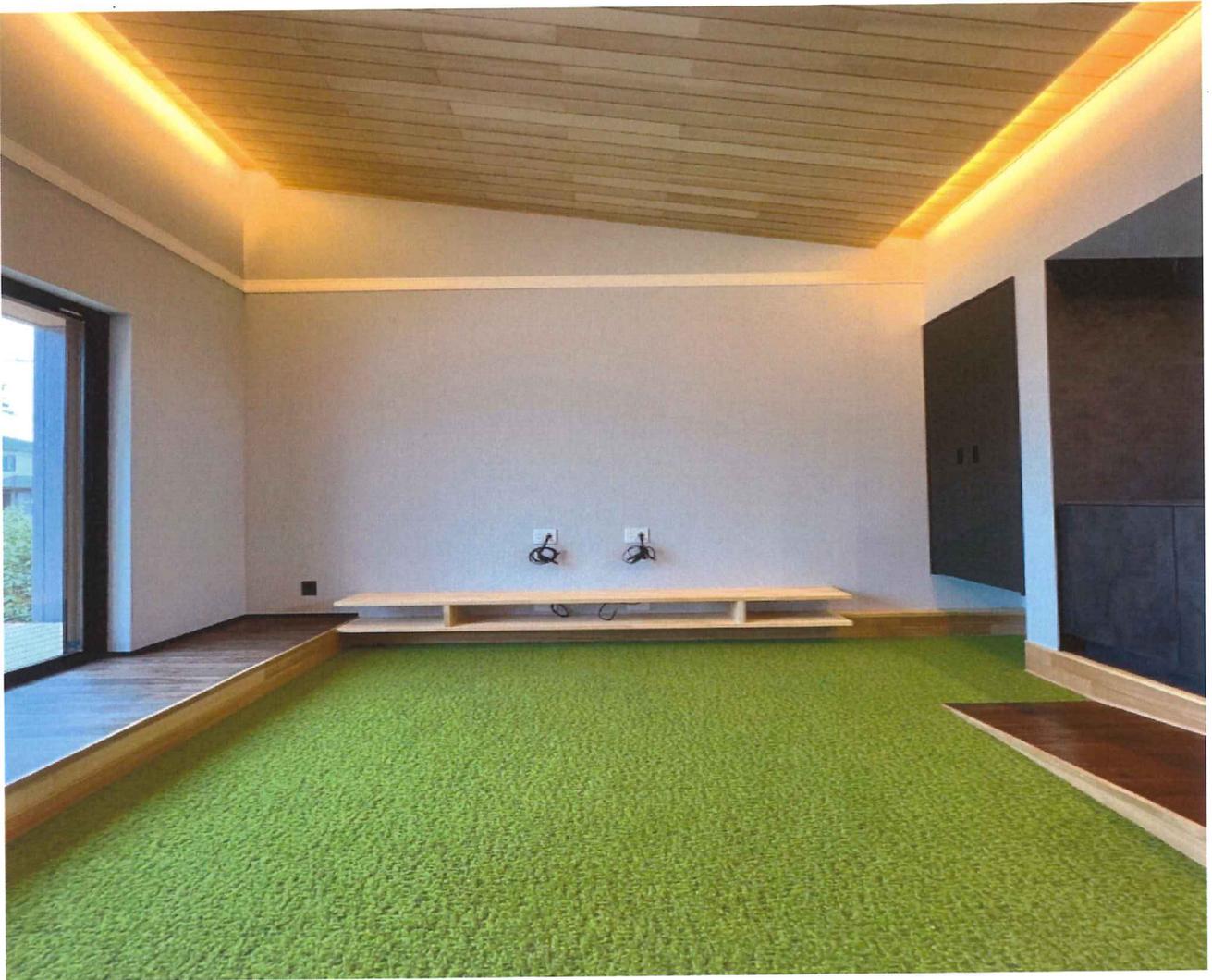
R premium

6.

Hexagon Tile



玄関にはヘキサゴンタイルが貼られました。ヘキサゴンとは六角形のこと、昔からある伝統的なデザインのひとつです。ヨーロッパや日本で昔から見られるこの形状は、質感や大きさの違いで、モダンにもレトロにもインダストリアルにも変化する今、人気のタイルですね。目地はブラックにしました。タイルは、この目地とのバランスで決まると言っても過言ではなく、センスが問われるもののひとつです。施主様には、見た目のオシャレさ、カッコ良さは当たり前ですが、今日から至福の住み心地を味わっていただけるものと思います。目に見えるものだけでなく、アール津の家は本物の高気密高断熱仕様。今回もC値は0.09を叩き出しています。その高気密高断熱仕様を利用した全館空調システムF-CONによる風や臭い、音の無い冷暖房環境も体感していただけます。本当の家の勝負は、住み心地だと思えます。家に暮らしを合わせるのではなく、暮らしに合わせた家をつくるのです。



ダウンフロアを採用し、自動掃除機が通れるようにスロープも仕掛けました。うまく通ってくれるのか？楽しみです

8.

Tile Carpet



リビングスペースには、苔をイメージしたタイルカーペットが敷き詰められました。床材は、無垢材、タイル、フロアタイル、タイルカーペット等からご選択いただけますが、今回のオーナー様は床に転がることも多く、座り心地のよいタイルカーペットを採用。目に優しく癒される雰囲気をつくりだしました

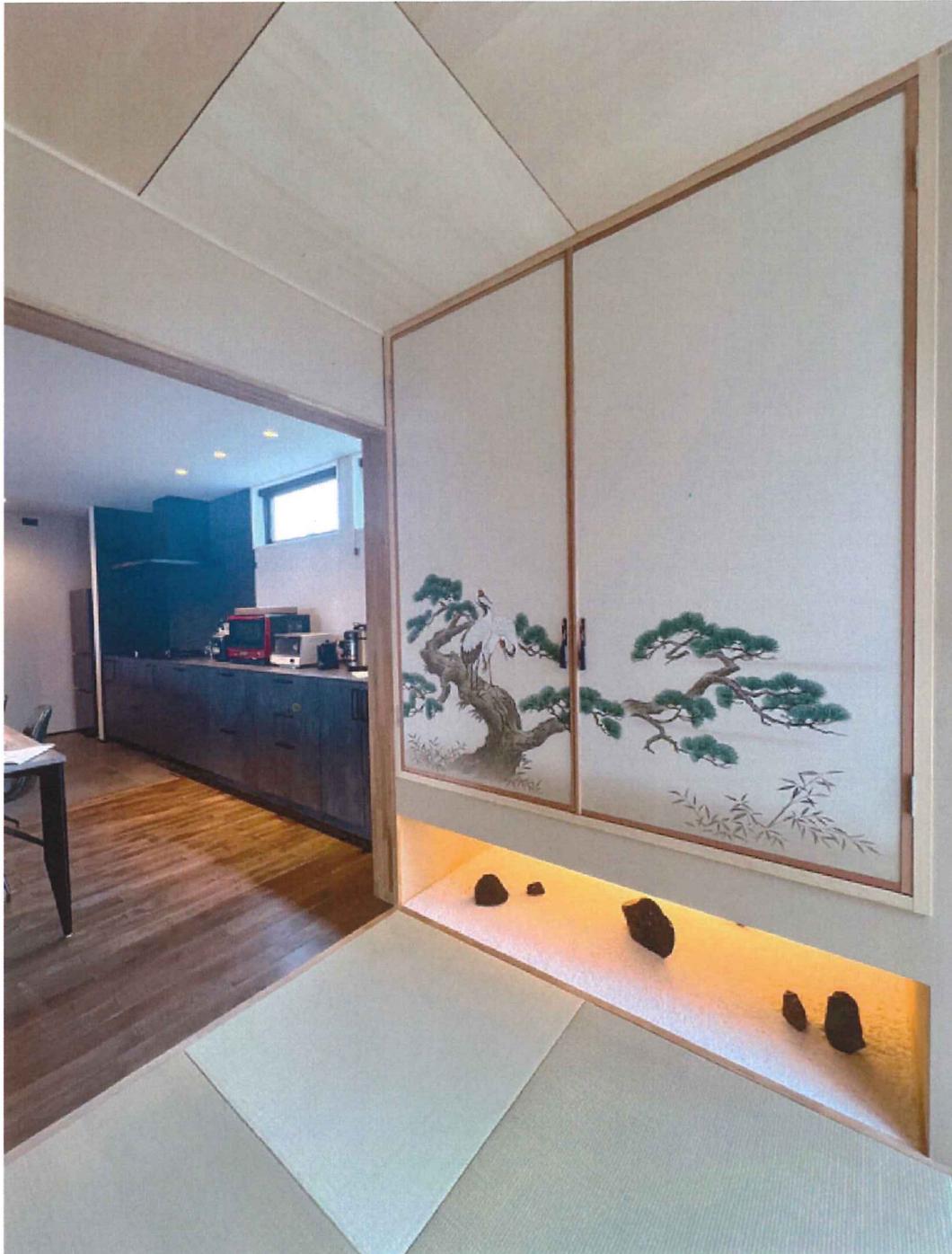
7. Inclined Ceiling

とても複雑な勾配天井。美しく板が張られ、解放感も抜群です。仕込まれている間接照明は、照明デザイナーで有名な「タカギ ヒデトシ」氏のデザインによるもの。高気密高断熱住宅のメリットのひとつが、こうした勾配天井や吹抜け、リビング階段等をつくってもきちんと暖房が効くことでしょう。一般住宅で真似をしてしまうと、いくら暖房をしても全然温まらない…なんてことが起こってしまうので要注意です。それぞれの家の性能に合わせた設計をすることが住み心地に関わってくるのです。

R premium

9.

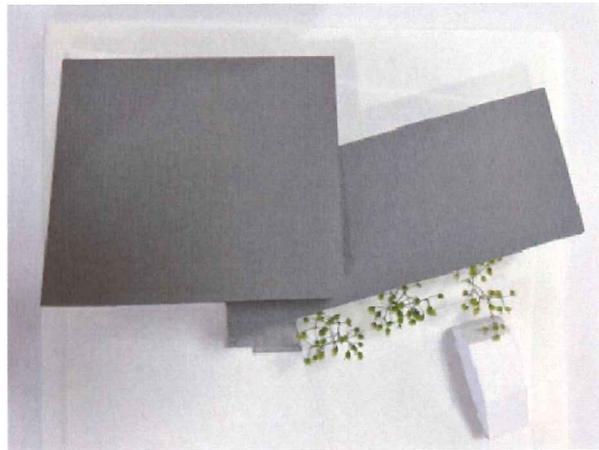
Japanese Style Room



畳スペースは熊本産の本蘭草畳ということで、香りが豊かでとても癒されます。和の伝統を重視し、天井には照明を設けずに壁ブラケットと吊り押入れ下の間接照明だけのお部屋です。何ともいえないほの暗さの中で、ぼんやりと過ごす時間は至福の時でしょう。古い立派な家では玄関の脇や、階段の下にちょっとした坪庭が飾られており、この「間がある家」様でも和室内の吊り押入れの下にそのコーナーをつくりました。白い綺麗な小粒の砂利を敷き詰め、不思議な模様で鏡面状に輝く石【黒曜石（こくようせき）】が飾られています。黒曜石は、加工が容易で切れ味鋭い狩猟用の槍として縄文時代の生活にはなくてはならなかったアイテムとのこと。自然は偉大ですね。13,000年前にこういった石を削って狩りをしていたものが今もあると思うと何だか不思議です。ちなみに、黒曜石は遠赤外線などの磁力線効果、さらにマイナスイオンを放出していることでも知られているそうです。

古き日本の良き文化を最先端をいくアール津の家で飾られていることがとても嬉しいです。

このスクエアな箱が
斜めに突き刺さったデザインは
建築にとっても苦勞をしましたが、見事につくりあげました
室内画像にて、気づく方は
とてもデザインに感度が高いお客様かと思ひます。



建築というものは、他の商品とは異なり
目の前にあるものや、カタログに載っているものを
購入するのではなく
購入してからつくるもの。
しかもそれが、どんなものができるのか分からないものです。
要は、信頼できるパートナー探しの旅といつて過言ではないでしょう。

そこで、安心感が高い
大手量販ハウスメーカー様に走るわけですが
量販店は量販らしい大量生産で組み合わせられた家づくりがメインとなり
できないことはありませんが、個々に合わせた家づくりなんて
目を剥くほどの金額になることでしょう。

「家を売ることと建てることは全く異なる」わけで、
信頼する仲間たちがひとつのチームとなつて、
骨身を削つて必死でやり遂げる住宅が
私たちアール津の誇りです。

建築家



西井 陽介

「地形に寄り添う家」がTV番組等に取り上げられ、一躍有名になった建築家

略歴 / Biography

- 1977年 京都府生まれ
- 1996年 ヴィアートル学園 洛星高等学校 卒業
- 2001年 京都大学 工学部 建築学科 卒業
- 2003年 京都大学大学院 工学研究科 建築学専攻 修士課程修了
- 2003年 (株)遠藤剛生建築設計事務所
- 2007年 一級建築士事務所 ROOTE設立
- 2016年 神戸芸術工科大学 非常勤講師

受賞歴 / Awards

- 2002年 MISAWA LIFE DESIGN AWARD 2001 佳作
- 2002年 第21回総合報道賞 佳作
- 2004年 住まいのインテリアコーディネーションコンテスト 2004 奨励賞
- 2005年 総合報道OOH賞2005 佳作
- 2008年 第2回トステム設計コンテスト 佳作
- 2012年 第46回SDA賞 入選
- 2014年 第26回福岡県まちづくり建築賞 優秀賞
- 2014年 第46回SDA賞 入選
- 2014年 JCDデザインアワード2014 100選
- 2015年 京都デザイン賞2015 入選
- 2016年 第9回「建築九州賞(作品賞)」 優秀賞
- 2016年 NICHIIHA SIDING AWARD 2016 入選
- 2016年 第12回「倉敷市建築文化賞」奨励賞
- 2018年 平成29年度 大阪のまち魅力アップ リノベーションコンクール 特別賞

「家の差は、職人の差」



R+house®